

※平成26年4月7日 第5回「選択する未来」委員会(内閣府事務局資料)

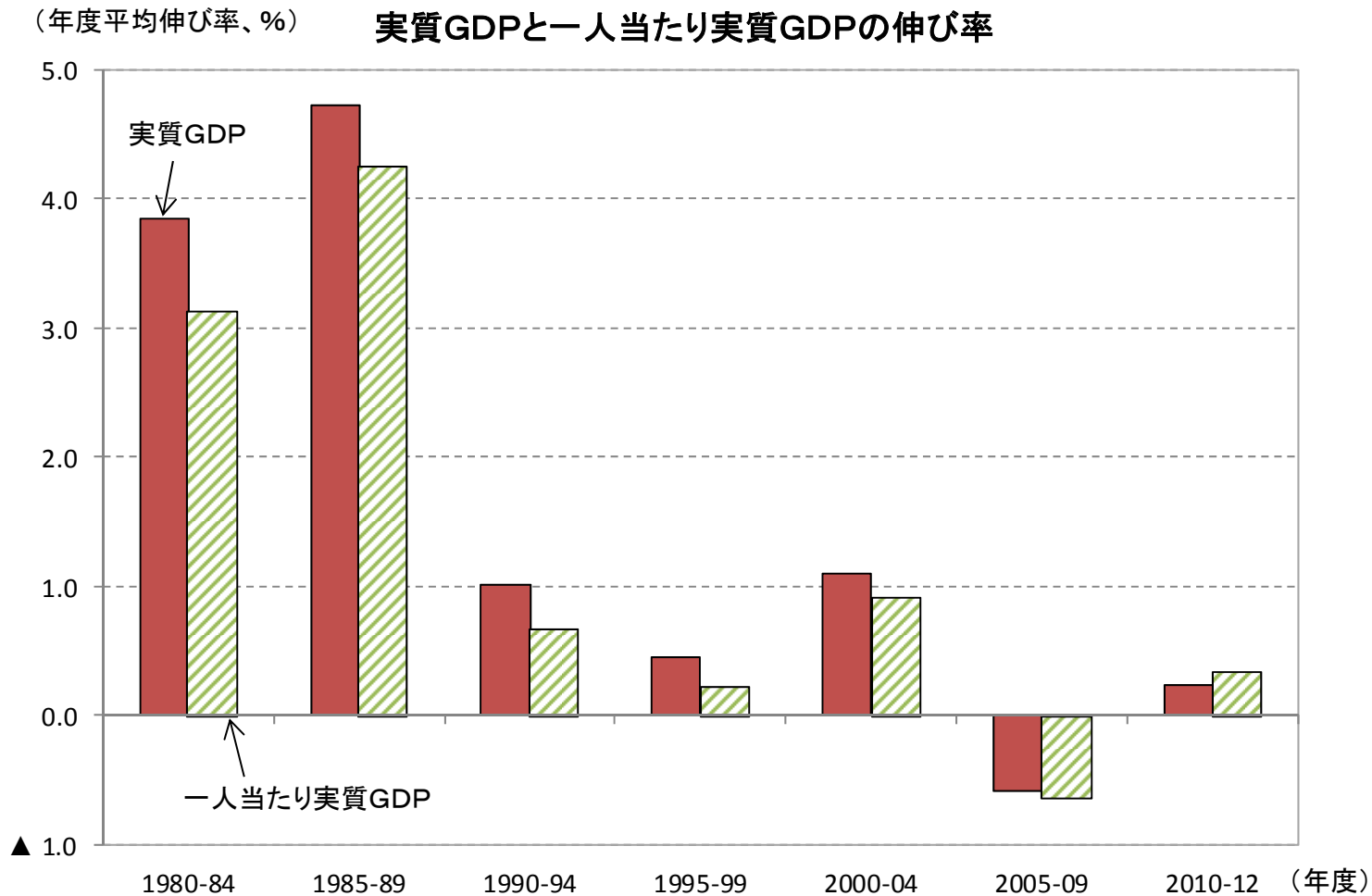
参考資料1

# GDPと一人当たりGDPについて (成長・発展に関する補足資料①)

平成26年4月7日  
内閣府

# GDPと一人当たりGDP

- 1980年代は、実質GDP成長率の方が、一人当たり実質GDPの伸びよりも高かったが、近年は人口減少により逆転している。



(備考) 内閣府「国民経済計算」をもとに作成。  
(注) 1994年度までは、2000年価格。1995年度以降は、2005年価格。

# 縮小スパイラル(イメージ)

～規模が縮小することにより、一人当たりGDPが減少する可能性～

急速な人口減少

市場縮小

規模の経済・集積の経済・交流の経済が働かず

投資先としての魅力喪失

イノベーション不発

製品の多様性喪失

経済縮小

一人当たりGDPの減少可能性

# 一人当たりGDPの姿(イメージ)

